

## 本報告書の作成にあたって

CITP アニュアルレポート2021を手にとっていただき、ありがとうございます。

GAFaによるDXが世界を創造的破壊に追い込む中、日本だけがまだ大丈夫だという空気をコロナ禍が吹き飛ばし、周回遅れの現状を白日の下に曝しました。日本のITがこのような状況になった要因の一つに、IT技術者の地位が低くみなされてきたことがあります。

これを打破すべく2014年に情報処理学会によってCITP (Certified IT Professional) 制度が創設され、ITプロフェッションの認定が開始されました。そして同年11月にCITP有資格者によるプロフェッショナルコミュニティが結成され、情報産業の発展に貢献し情報技術者の社会的地位向上を目指した活動が始まりました。

本報告書は、CITPが持つプロフェッショナルな知見やコミュニティ活動内容を、広く世に知っていただくために2017年から発刊され、今回で5年目となるものです。簡単に各論文の内容を紹介させていただきます。

NTT テクノクロス株式会社の菊池修さんからは『実社会の情報リテラシーおよび倫理を伝える-大学でのCITP授業より-』として、自らのプロフェッショナル知見を大学生に講義した報告です。社会において企業が考慮する情報リテラシーや情報倫理について三大学への講義を行うにあたっての準備や、実施により得られた知見を報告されています。これから大学などで講義を予定されている方にお勧めです。

プログラミング教育 SIG の部会長でもある東京大学の五十嵐智生さんからは『日本のプログラミング教育の課題とデジタル人材に関する考察』として、これまでのSIGの活動と教育現場でのプログラミング教育の動向・展望を総括するとともに、CITPと今後必要となるデジタルネイティブ技術者とのギャップを指摘し奮起を促しています。

中電シーティーアイの赤塚正芳さんからは『情報システム子会社によるプログラムマネジメントの適用～リスクの見える化による経営リスク低減～』として、電力システム改革(会社分割)による複数システムの大規模一斉改修におけるプログラムマネジメントの報告です。本論文は2020ユニシス研究会の優秀論文賞を受賞しています。

Konami Gaming, Inc.の赤根大吾さんからは『情報処理学会のCITP 一覧ページからCITPの全体像を探る』として、webのCITPページ情報からPythonを用いてCITPの認定者状況をスクレイピング、分析・可視化します。Pythonをまだ知らない方やホームページからのデータ収集に興味のある方にはお勧めです。

本報告書の作成を含むCITPコミュニティの活動は、2020年度JUASアドバンスド研究会に採択されています。

各論文の著作権は執筆者に帰属します。

CITP コミュニティ 『知の発信』 専門部会  
部会長 松田信之 (中電シーティーアイ)

以上

